育児と仕事の両立支援（管理職編）

開催日時 2027. **3.4** 木 **15:00～16:00**

受付終了 2027.3.1(月)

開催形式 Zoomウェビナー（講演スタイル）※

対象者 全社共通

定員 30名



※講演スタイル：講師の講義を一方向で聞いて学習する形式

メンバーの育休取得や復帰を、チームの生産性を高める「業務見直しの好機」と捉える視点を養います。個々の事情に配慮しつつも、過度な遠慮による不公平感を防ぐタスク配分や、属人化を排除した情報共有体制の構築法を解説。心理的安全性を高める1on1の手法を学び、多様な働き方を許容しながらチーム全体の目標達成を最大化させる「イクボス」としての実践力を強化します。

講師 **林田　香織（はやしだ　かおり）**



ワンダライフLLP代表、NPO法人ファザーリング・ジャパン理事。日米の教育機関での指導を経て独立。
現在はダイバーシティ推進やアンコンシャス・バイアス、多文化マネジメント等の研修に登壇し、厚労省「共育プロジェクト」推進委員も務める。グローバル企業において従業員のライフキャリアサポートに従事する等、グローバルな視点も取り入れ、ロジカルかつ参画型の講義は大手企業を中心に好評。現場と管理職の橋渡し役として、多様な人材の活躍を支援する。

項目	内容	目標到達点
1.オリエンテーション	●自己紹介、目的共有	最新の法改正や社内制度を正しく理解し、メンバーへの個別周知・意向確認を適切に行う重要性を把握している。
2.育児と仕事の両立支援に関する制度を理解する	●男性の育休取得増加・取得日数も増加傾向 ●改正育児・介護休業法：仕組みを変えて意識を変える ●職場の変化：ほとんどが制約があるメンバー ●育児と仕事の両立支援制度、制度の個別周知と意向確認 （両立体制を再検討する機会をとしたい）	
3.育児期メンバーの社会的背景を知る	●社会の変化：足りない・長い・わからない・自分次第の時代へ ●仕事に対する考え方：世代に関わらずバランスは大事 ●ライフを優先したいと理想のキャリアとのズレが大きい ●共働き世帯は増加の一途、 若者の意識：8割以上が仕事も育児も熱心に取り組むつもり ●インポスター症候群、 過剰配慮に苦慮：そのためにもコミュニケーションを！	育児期メンバーが抱える葛藤や意識の変化、過剰配慮のリスクを理解し、背景に配慮した対話の必要性を認識している。
4.育児期メンバーへの「適切なサポート」を考える	●ついでトークと本音トーク⇒安心して「分かり合える」関係に ●「管理＋支援」⇒3つのチェックで状態を把握＆相談 ●相談しながら：「現状＆希望＆壁打ち」 ●管理職だけでやらない⇒希望をかなえ合う環境は全員で創る	メンバーと本音で話し合える関係性を構築し、周囲も巻き込みながら個に応じた具体的なサポート・環境づくりを実行できる。

サイバックスUNIV. お問い合わせは、リスクモンスター株式会社 カスタマーセンターへ　受付時間: 平日10:00～16:00

フリーコール TEL 0120-035-205　携帯電話 TEL 03-5202-7121

Copyright © 2026 Riskmonster.com All Rights Reserved.